

発議第6号

議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議について

議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議を次のとおり提出しようとする。

令和7年3月25日提出

提出者 伊賀市議会議員

森川 徹

内原 篤

北森 徹

桃井 弘子

市川 岳人

中岡 久徳

記

議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議

議案第4号令和7年度伊賀市一般会計予算に計上されているたまき保育所の運営にかかる下記経費については、以下の点に留意した執行等を求める。

- (1) たまき保育所の運営に関しては、これまで数年間をかけ幾度となく統合に向けた説明と協議を行ってきた結果、保護者をはじめ、玉滝地域住民の大半がたまき保育所の統合を了承してきた経緯がある。

それにもかかわらず、新市長が誕生してからわずか数か月で前述の統合について180度方向転換させたことは、明らかな説明不足と協議不十分であり、玉滝地域住民の混乱を招いたと言わざるをえない。

確かに、「たまき保育所を存続してほしい」という声が一部住民から上がっていることは事実である。

しかし、市長が掲げる小規模保育、自然保育を運営するためには地域の協力が必要不可欠であり、玉滝地域まちづくり協議会のみならず、自治会、区長会含め地域住民の合意形成を図る必要がある。

以上を踏まえ、再度、玉滝地域住民と協議の場を設け、今後のたまき保育所のありべき姿を令和7年度1年間で検証すること。また、検証内容について事前に議会と協議し、検証結果を速やかに議会に報告すること。

- (2) 園児1人当たりの保育に係る費用単価については、最も低額な西柘植保育園が113,246円／月であり、一方で最も高額なたまき保育所は332,618円／月と伊賀市内の公立保育所の中で格段に高額となっている。

したがって、伊賀市全体で保育の必要な場所に保育士を配置することを考慮し、地域別の園児数の推計等から保育所（園）の配置を再考し、中長期的な視野に立ち、管理運営・施設投資において安定的でより有利な財源確保が可能な保育所（園）のあり方を検討する必要がある。

以上を踏まえ、保育所（園）民営化計画を白紙に戻すのではなく、成功事例ともいえる大山田保育所を参考にしながら、当事者含め保育関係者、市民等より多くの意見を聴取すると同時に、議会の意見を十分に反映させ、再度保育所（園）民営化計画を策定すること。

- (3) たまたき保育所と玉滝地区市民センターの移転問題は表裏一体であり、令和7年度にたまたき保育所が継続することで多くの玉滝地域住民の悲願であった玉滝地区市民センターの移転がかなわなくなる。現在、玉滝地区市民センターが立地している場所は浸水危険区域であり、非常時の住民の安全を担保できない状況であることから、玉滝地区・槇山地区双方が納得する移転先を令和7年度中に選定を行い、速やかに移転に向けた協議を実施すること。

記

1 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算

第1条 歳出 第2款 総務費 第1項 総務管理費 第5目 財産管理費

市有財産管理経費 市有財産管理経費 委託料 消防設備等保守点検業務委託料
12,667,000 円

2 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算

第1条 歳出 第3款 民生費 第4項 児童福祉費 第1目 児童福祉総務費

児童福祉一般事業経費 児童福祉一般経費 委託料 紙おむつ収集運搬業務委託料
17,041,000 円

3 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算

第1条 歳出 第3款 民生費 第4項 児童福祉費 第4目 保育所費

保育所管理運営事業 保育所管理運営事業 288,569,000 円

4 議案第4号 令和7年度伊賀市一般会計予算

第1条 歳出 第3款 民生費 第4項 児童福祉費 第4目 保育所費

会計年度任用職員人件費 短時間勤務会計年度任用職員人件費 513,715,000 円